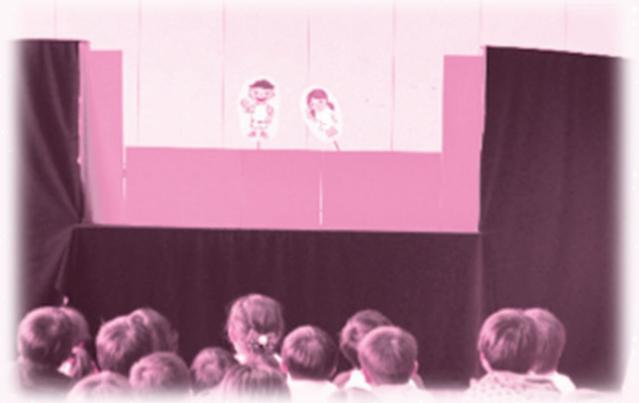


子どもたちに直接呼びかけます

子どもアシストセンターのことをもっと多くの子どもたちに知ってもらいたい・・・
そんな思いで「あしすと子ども出前講座」を実施しています。

「子ども出前講座」では、安心して何でも相談できる場所であること、秘密は守られることを紙の人形劇でシミュレーション的に見てもらい、身近さを感じてもらえるように子どもアシストセンターの紹介をしています。

市内の各児童会館やミニ児童会館のご協力のもと、毎年およそ25ヶ所で講座を実施し、約1200人の子どもたち（おもに小学校低学年～小学校中学年）が見に来てくれています。



今回は、子どもたちから寄せられた声の一部をご紹介します。



人形劇に登場するアシストセンターの人が優しかった

実際のアシストセンターのスタッフも優しいですよ^^一人で悩まずにまずは相談してみてくださいね!

1日に何件の相談があるの?

1日にだいたい10件～15件くらいの相談が寄せられています。



困ったことがあったら電話してみようと思いました

そう言ってもらえると嬉しいです。学校のこと、家庭のこと、友人関係のこと等で悩んだり困ったりしたときには、是非電話をしてみてくださいね。

相談したことが学校に伝わってしまわないか心配です

相談した方の了承がない限り、アシストセンターから学校に連絡することは絶対にありません。秘密は守られますので安心してご相談ください。



お母さんが相談してもいいの?

子どものことであれば、保護者をはじめとする大人の方からの相談も受けています。



どういうところかもっと知りたい

アシストセンターでは、子ども(※)に関する相談を受け付けるとともに、問題解決に向けた調査や関係者間の調整を行っています。

さらに詳しいことは、ホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/kodomo/assist>) で紹介しています。

※18歳未満の子どもが対象です(18歳または19歳であっても、高校3年生など18歳未満の子どもと同じような環境にある場合は対象となります)。※札幌市内に在住する子どもが対象です。

大人向けの出前講座もあります

あしすと出前講座

家庭教育学級など、子どもに関わるさまざまな団体やグループを対象に、相談・救済スタッフが講師となり、子どもの悩みや課題について共に考え話し合います。
お気軽に事務局(211-2946)までお問い合わせ・お申し込みください。費用は無料です。

- テーマ**
- ①子どもの権利を守るってどんなこと?
 - ②相談から見える「子どもたち」
 - ③子どものSOS～子どもの声が聞こえますか?

